

SSKP 船橋障害者自立生活センター

2015年8月

うえいぶニュース



〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565
URL：http://www.cil-funabashi.org/ E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

2015年度定期総会を終えて

2015年度定期総会を下記の通り開催しました。

〈日時〉6月14日（日）13:30～16:00

〈場所〉船橋市中央公民館

年に一度の総会が今年も開かれました。前夜に代表理事の杉井が交通事故に遭うというトラブルに見舞われ、開会前に簡単にその報告が行われました。

代表代行の宮尾修の挨拶に続いて、小林健一理事を議長に選出して議事に入りました。

当日は17名の出席があり、委任状を提出した25名と合わせて正会員の過半数の出席となり、総会の成立が宣せられました。会員の皆さんには当日の資料と議事録をお送りしましたが、最終的にはすべての議案が事務局の提案通りに承認されました。特に、昨年度は作業所の運営と相談支援事業に重点を置いて活動を行なったことが報告されました。

また、今号の以下の記事にもあります通り、今年度は、「出張ピアカン」、「二次障害についての講演会」、「日帰りバス旅行」など、新しい活動や行事の計画がいくつかあります。いずれも今までにない企画であり、是非多くの皆さんに参加して頂きたいと考えています。そして、それらを通じて仲間の輪を拡げて活動の力に変えていくことができれば、と願っています。

引続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ピア・カウンセリング連続公開講座のお知らせ

ピア・カウンセリングは自立生活センターにとって、大きな柱となる事業のひとつです。同じような障害を持って、同じような経験をしながら生きてきた者同士が、話を聞き合うことで自己信頼を取り戻し、本来の自分と向き合うことを目的として、毎年各種の講座を開催して来ました。

でも、一部の専門家の人からは障害者同士で話を聞き合うことの意義や有効性を評価されても、なかなか一般の方の理解を得るまでには至っていないというのが偽らざる実感です。中でもよく聞かれるのが、「障害者だけで部屋の中にこもってなにをやってるのか？」という声です。

そこで昨年「ピア・サポーター勉強会」という形のシリーズで実施したものを少し形を変えて、障害のない方も含めてどなたでも参加して頂ける連続公開講座を開催することになりました。昨年の勉強会と同様、前半はピア・カウンセリングのエッセンスを体験する場として、後半は障害者にまつわる様々な問題を講師のお話を通して勉強する時間となります。

障害のある方はもとより、関心をお持ちのすべての方々に参加して頂きたいと思えます。要綱は下記の通りですので、ふるってご参加下さい。

開催要項

日時：2015年8月から2016年3月の毎月第3水曜日（8月は第4水曜日）

13:30～16:00まで

場所：船橋市浜町公民館 他

※ 船橋市障害者団体補助金支援事業

ピア・カウンセリング連続公開講座プログラム

回	開講日	内容
第1回	2015年 8月	ピアカンとは
第2回	2015年 9月	ピアカンの人間観
第3回	2015年10月	障害ってなんだろう？
第4回	2015年11月	障害者をサポートするとは？
第5回	2015年12月	障害福祉サービスってなに？
第6回	2016年 1月	傾聴の極意
第7回	2016年 2月	意思決定をサポートすること
第8回	2016年 3月	障害福祉サービスの上手な使い方（インフォーマル含む）

<申し込み先・お問合せ先>

NPO 法人 船橋障害者自立生活センター（担当：小林・杉井）

出張ピア・カウンセリングはじめました！！

日頃より当センターへ格別のご支援をいただき、ありがとうございます。

近年、国の障害者施策の中で「ピア・サポート」という言葉が聞かれるようになりました。現時点では主に精神障害者の地域移行を念頭に置いているようですが、当センターでは団体創立以来、種別を問わず障害当事者のエンパワーメント等を目的に「ピア・カウンセリング」を続けてきました。「ピア・カウンセリング」とは同じ背景を持つ仲間同士で障害当事者による当事者のための共感的で肯定的な聞きあいをすることにより力をつけていくプロセスです。

また、千葉県の委託や補助金事業としてピア・サポーター養成研修講座を3年間にわたって実施し、50名を超えるピア・サポーターを養成しました。

この度、この理念を拡げてより多くの障害者に力をつけてもらい、毎日の生活をさらに充実したものにしてもらうために、「出張ピアカン」というものを始めました。

施設や病院はもとより、ご希望があればどこへでもお伺いします。

もやもやした気持ちを吹き飛ばし、前向きに考えるためのお手伝いをします。

ぜひ、多くの事業所や団体からのお申し込みをお待ちしています。

派遣要綱

派遣員：当センター専属ピア・カウンセラー	派遣日・派遣時間：完全予約制
費用：相談料・交通費、一切無料	お電話でご相談ください。
基本派遣地域：船橋近隣地域 他応相談	基本相談時間：45分～60分程度

お問い合わせ先

NPO法人 船橋障害者自立生活センター（担当 杉井・小林）

講演会

どう防ぐ？ どう治す？ 二次障害

自立生活センターでは、下記の要綱で二次障害についての講演会を開催することになりました。

障害を持って生活をしていると、長い間には身体のいろいろな所に歪みや疲れが出てきて、それが元々の障害とは違う形で影響を及ぼすことがあります。それが二次障害の正体だと思いますが、具体的な現れ方は人それぞれで、一筋縄ではいかないものようです。しかも医療の世界では新しい分野であり、対応が遅れたり間違えたりすると、寝たきりになってしまう恐れもあるなど、適切な医療が受けられずに生活に深刻な影響を与える程に症状が重くなってしまう人も少なくありません。当センターの代表の杉井自身、20代後半から身体の痛みに苦しみ、一時は電動車いすの操作に支障が出るなどギリギリの経験をしました。

そこで杉井の主治医でもあり、特に脳性マヒの二次障害について専門的な研究をされて多くの患者から信頼を寄せられている三原先生をお迎えして、二次障害が発生するメカニズムやどうすれば影響を最小限に抑えることができるのか、そして最新の治療法などについてお話をさせて頂くことにしました。お話の中では、障害者が医療と関わる上での注意点や、自分にとっての適切な医療の見分け方や選び方についても教えて頂きたいと思っています。

脳性マヒの人のもとより、他の障害を持つ人にも役に立つ講演会にしたいと考えています。是非多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。

開催要綱

タイトル：「どう防ぐ？、どう治す？二次障害」

日時：11月21日（土） 13:30～16:00

会場：船橋市中央公民館 第3・第4集会室

講師：三原久範先生（医師・国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院整形外科部長）

<主催> NPO法人 船橋障害者自立生活センター

※ 船橋市障害者団体補助金支援事業

代表のぼやき・・・

～ 歳は取りたくないなあ ～



毎度個人的な話で恐縮ですが、先日、誕生日を迎え、また一つ歳を取ってしまいました。歳を取ることは毎年変わりはないのですが、今年の誕生日は少し違う思いを感じています。それは介護保険の適用を受ける年齢が、2年後に迫っていることを意味するためです。

生まれつきの障害を持ち、あまりメニューがない頃からずっと障害福祉サービスを利用して生きてきました。私たちの自立生活センターが船橋市の委託を受けて実施した全身性障害者介護人派遣事業に始まり、支援費制度、障害者自立支援法、そして現在の障害者総合支援法に至るまで、サービスの根拠となる法律や制度が目まぐるしく変わっていきました。そしていよいよ、私も介護保険法に基づくサービスの適用を受けることになるわけです。介護保険はもともと、高齢化社会の中で介護の社会化を目指して作られた制度であると思います。別の言い方をすれば、歳を取って心身の状態に変化が出てきた時に困らないように準備をしておくための制度だと理解しています。

そのような前提の基に作られた制度を、私も含めた元々の障害者にも適用することは、何となく無理があるような気がしてなりません。現行の制度ではサービスを利用する場合に、介護保険のサービスを優先して利用をしなければならないことになっています。もちろん、介護保険の制度にはないサービスを希望すれば、障害福祉サービスの中から選ぶことは可能です。でも、私が今利用している重度訪問介護というサービスを引き続き利用しようとするれば、介護保険の要介護認定を受けて、はじき出された要介護度に定められたサービス量をすべて使った上で、不足分を賄うという形でしか利用できません。しかもご存じのように、介護保険には利用したサービスに応じて自己負担を支払うという、恐ろしいしくみになっています。障害福祉サービスにも自己負担のしくみはありますが、あくまでも所得に応じたものであって、介護保険のしくみとはかなり違う印象があります。

上に書いた通り介護保険の制度というのは、一部を除けば若い頃は元気で働いて、歳を取ってからの備えがある程度は出来る人を想定していると考えられます。だとすれば、子どもの頃から障害を持ち、満足な就労の経験もないまま65歳に達する人間に、同じ制度を利用することを強制するのは無理があるのではないのでしょうか。

この問題には多くの仲間が不満や不安を感じています。ここでぼやいて済ませるのではなく、問題の根本的な解決を目指して訴え続けて行きたいと思います。

WAVE 新商品 似顔絵入り名刺

従来の名刺に、よく特徴を捉えた我が『福祉作業所 WAVE』の絵師が丁寧に描いた似顔絵をプラスした名刺です。

名刺とは何か？ それは 初対面の人に自分という存在を覚えて貰うためのツールです。名刺には自分に関する一番基本的な情報が書いてあります。ビジネスのシーンでは当たり前のように使用されている物。仕事をする際には必ず持っていないとはいけな物です。

そこで今回、ご紹介させていただいている「似顔絵入り名刺」は受取る方にインパクト大！ なぜなら、伝えるべき自分の情報と似顔絵も付いているからです。好印象を与えること間違いなしの『似顔絵入り名刺』を渡して、仕事を円滑に進めましょう。

また、何枚も名刺を持っていると、名前がわかって顔が思い出せない・・・、そんな経験をしたことがあると思います。そんな時にこの「似顔絵入り名刺」があれば大丈夫。たくさんある名刺の中でも、印象深い名刺なので、必ず思い出せるはず。また、逆に自分が貰っても、すぐに思い出すでしょう

ご注文はお電話またはメールにて。（基本料金 100枚 3,100円）



WAVE に来て・・・



細田将太

はじめまして。2015年6月よりWAVEでお世話になっている細田将太と申します。WAVEに入ろうと思ったきっかけは、私がパソコンが大好きで、WAVEの話を聞いて見学をしに行きましたら、皆さんがパソコンをやっていて、名刺作りをしている方やパソコンの検定の資格を取得している方もいたので、私もWAVEに来て、もっともっと自分磨きがしたかったからです。

今はパソコンの資格を取得しようと思っていて、そのための勉強をしています。他にも名刺作成をしたり、名刺の検品をしたりしています。

話は変わりますが、私は自立を考えています。将来は親元を離れ、ヘルパー制度を使ってやっていければなと思っています。しかし、まだまだ私ができることは少なく、家族に頼りがちな部分もあります。自分のことは自分でやるとわかっているんですが…。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願い致します。

私の実習日誌

呉鑫渺（ごしんみょう）

これは私が3年生になってからの6月末のことでした。また船橋障害者自立生活センター内にある障害者福祉作業所 WAVE（以下、WAVE）に実習に行きました。実は1年生の時に2日間、WAVEに実習に行っていました。1年生の時は船橋市役所と船橋市消防局中央消防署に WAVE の職員と一緒に行きました。その時はあまり WAVE には興味がありませんでした。だから、将来、WAVE で働くことは思っていません。

今年になって初めての学校の先生との面談で、3年生でまだ進路が決まっていなかったのならもう一度 WAVE に行ってみないかと先生に声をかけられました。初めは先生の説得に負けて、なんとなく行くつもりでした。でも行ってみたらとてもおもしろかったです。1日目は名刺の作成をしました。学校の先生方16名分の名刺のご注文を頂いたので、納期間に合わせるため、とにかく頑張りました。1日目から一生懸命頑張りました。そして疲れました。

2日目は WAVE の職員と船橋市役所に行きました。船橋市役所では障害福祉課の小川さんから日本の福祉について学びました。2時間たっぷりとお話を聞かせてもらいました。小川さんはとてもキレイな方なので、2時間もお話を聞かせて頂いても飽きることはありませんでした。小川さんに福祉の話聞いて、一人暮らしもできるのではないかと思います。

3日目は WAVE に向かう道中に転びました。なので、気が動転してしまい、その日のことは、よく覚えていません。4日目はメールと Twitter のアカウントを作成しました。そして、使い方を学びました。5日目は名刺の検品と実習日誌を書きました。

今回は、前回と比べてとても楽しかったです。一番楽しかったのは、メールのアカウント作成です。一番心に残っているのは小川さんのお話でした。



未来の私へ
2015年7月3日

初めまして、佐々木です



初めまして、佐々木要子と申します。2015年7月15日からお世話になります。

私は、20年前の七夕、7月7日に東京の東陽町の会社で倒れました。病名は、先天性脳動脈奇形破裂による脳内出血です。東京の聖路加病院に搬送されました。それまでは、健康で明るい健常者でした。私の人生が180度変わってしまいました。倒れてから2日は意識不明の重体、意識が戻っても右半身不随になりました。

2週間は記憶がありません。その後、記憶が戻ってからは地獄でした。聖路加病院では手術ができなくて、北海道の中村記念病院でしかできない手術をしなければ助からないと言われ、倒れてから一か月後に北海道に移転して、塞栓術の手術を3回、ガンマーナイフを1回の手術をしました。それでも奇形は消えず2年後にもう一度ガンマーナイフをかけなおしました。それから、一年おきに造影検査をして病気になってから5年目で完治しました。

それから、千葉に帰ってきてリハビリで江戸川病院に入院しました。それで自力で歩けるようになり、退院をしてしばらくリハビリに通っていました。リハビリ期間が終わり社会復帰をして、パソコン事務で数か所、成田空港でも働いてました。それから、現在は WAVE 以外にもパンの製造所で働いています。もう製造所は9年になります。でも去年9月に腕を骨折したり、今年の3月に腰のヘルニアになったりしたので、そろそろ製造所の方は辞めようと思っています。今後は、WAVE 一本でいきたいと思っています。今は自分一人と犬一匹で頑張ってる暮らししています。よろしくお祈りします。

図書係から

WAVE M.A

たくさんの方から WAVE 図書館に本や漫画などを寄贈していただき、本当に有難うございます。

本を寄贈してくださった方々

成田様、小嶋様、森田様、福本様、坂田様、小松様

本当に有難うございました。

歴史小説や漫画、料理本も和食のダイエットレシピなどを寄贈していただきました。WAVE の仲間たちも大変喜んでおります。

今後はぜひたくさんの方の WAVE メンバーや、ケアネットのヘルパーの皆さんに借りていってもらい、たくさんの本を読んでいただきたいです。とくに料理のレシピ関係と社会福祉関係、心理学関係、漫画などは充実してきたので、ぜひ皆さんご利用ください。

☆☆

まだ まだ 古着等を集めています！！

前号で古着などの提供を呼びかけましたが、多くの方々にご協力いただき、本当にありがとうございました。WAVE ではまだまだ古着などを募集しています。

ご使用済みの着物や浴衣、または端切れなどご不要のものがありましたら、リサイクルを兼ねてご提供いただければ嬉しく思います。材質やサイズ、柄などは一切問いません。

皆さんの暖かいご支援ご協力をよろしくお願い致します。

問い合わせ：障害者福祉作業所 WAVE（担当・兼信）



～福祉作業所「WAVE」に来るまでのこと～

S・I

こんにちは S・I です。趣味は、スポーツ観戦・音楽鑑賞です。娯楽で将棋・ドラクエ（ゲーム）をすることです。

私は 42 歳まで障害者の人達と関わってませんでした。生まれつき障害があったのですが、軽度のため健常者同様、普通の高校まで行き、一般の仕事（アイスクリームの製造・販売等）をしていました。そのため、小さい時から障害者であることを隠してきました。周りの人達からは、足を怪我した人としか見られず苦労しました。42 歳を過ぎてから思うように体が動かなくなり、一般の仕事を辞めることになりました。そして障害者手帳をもらおうと病院へ行き、脳性麻痺であることがわかりました。自分は前からそうとわかっていたので、それほどショックではありませんでした。そして障害者手帳を取得して、今は堂々と私は障害者ですと言えるようになりました。今度は自分と同じ障害者達と仕事をしようと思い、作業所「WAVE」でパソコンを覚えようとききました。パソコンは 5 年前まで全然やったことがなかったです。今はパソコンのやり方を教えてもらい、カレンダーや POP 等ができるようになりました。うれしかったです。最後に作業所「WAVE」の人達は、それぞれ個性があり、いい人達です。自分のペースで作業ができるし、これからも頑張ります。

☆イトウ君のコーナー☆

☆・・・この違いわかりますか？・・・☆

1. 「バルコニー」と「ベランダ」
2. 「きのこの山」と「たけのこの里」
3. 「ハイキング」と「ピクニック」

—解答—

1. 「バルコニー」は室外に張り出した屋根のないスペース
「ベランダ」は室外に張り出した屋根付きのスペース
屋根があるかないかです
2. 「キノコの山」はスナック部分が「クッキー」のチョコスナック菓子
「たけのこの里」はスナック部分が「クッキー」のチョコスナック菓子
3. 「ハイキング」 歩くことを楽しむ
「ピクニック」 食べることを楽しむ

WAVE のうごき

6月

6日(土)	ケア・ネット総会
6日(土)	センター理事会
14日(日)	センター定期総会
23日(火)	認定審査会
29日(月)	fas-net 例会
29日(月)	G君実習
30日(火)	障害福祉団体連絡協議会 施設見学会

7月

11日(土)	障害福祉団体連絡協議会
31日(金)	ピアカン集中講座

夏期休暇のお知らせ

センター・作業所では8月8日(土)～16日(日)まで夏期休暇とさせていただきます。その間、通常業務は休止となります。緊急に連絡する必要のある場合はメールで対応しますのでよろしくお祈いします。

会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただいていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利のように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

ご案内・お知らせに関する問合せ・申込先

NPO 法人 船橋障害者自立生活センター
障害者福祉作業所「WAVE」

〒273-0005 千葉県船橋市本町2-4-4

花島ビル1F

TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565

E-mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

URL：http://www.cil-funabashi.org/

カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。

厚くお礼申し上げます。(順不同)

竹本雅昭様 田尾幸三様
社会福祉協議会様

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
身体障害者定期刊行物協会
頒価 100円

船橋障害者自立生活センター

行こうよ！ リフト付きバスで行く 秋の山梨 日帰りバスツアー

いつも自立生活センターの活動にご協力いただきありがとうございます。

このたび、秋の一日を楽しく一緒に過ごす日帰りバス旅行を企画しました。行き先は、山梨県笛吹市。名将武田信玄ゆかりの地で、太鼓ショーを鑑賞しながら郷土料理のほうとう御膳を味わい、またワイン工場を見学したりと盛りだくさんのツアーです。

普段顔を合わせる機会のない人たちとも交流と親睦を深めていただくことを目的としています。

バスは船橋市社会福祉協議会からリフト付きの大型バスを借りる予定です。ご家族やお友達もお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



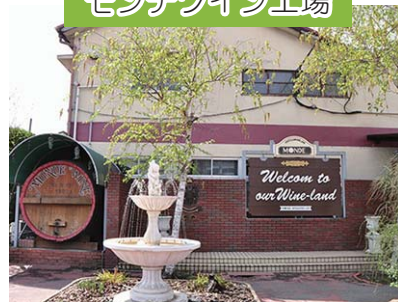
太鼓ショー



ほうとう御膳



モンデワイン工場



日時 2015年 **11月10日** (火)

料金 **3,000** 円 (昼食代含む)

参加予定人数 35名

目的地 山梨県笛吹市

- 8:00 市役所集合
- 8:30 市役所出発
- 10:30 休憩 (談合坂 SA: 滞在予定 30分)
- 11:30 響の里: 太鼓ショー見学&昼
- 13:15 モンデワイン工場見学 (滞在 45分)
- 14:30 休憩 (談合坂 SA: 滞在予定 30分)
- 17:00 市役所到着

船橋障害者自立生活センター

〒273-0005 千葉県船橋市本町2-4-4

花島ビル 1F



予約・お問い合わせ

047-432-4554

E-mail: cil-funabashi@cil-funabashi.org

参加ご希望の方は裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上9月18日までにお申し込みください。なお、ご家族やお友達と一緒に参加される場合、お一人様一枚の申込用紙が必要になりますので、その場合はコピーしてお使いください。

日帰りバス旅行申込用紙

氏名	
性別	男性 ・ 女性
住所	
電話番号	
障害の有無	有 ・ 無
アレルギーの有無	有 ・ 無

申込先

船橋市障害者自立生活センター事務局（担当：兼信・杉井）

TEL：047-432-4554 FAX：047-432-4565

E-mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org